



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	31-4625-5	版	2.00
発行日	2023/09/29	前発行日	2021/03/23

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

リライエックス™ ルーティング プラス

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	歯科用製品事業部
電話番号	042-770-3725

本製品は個々に包装された複数の構成成分からなるキット製品である。SDSには個々の構成成分のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。この製品を構成する製品のSDS番号は：

29-6280-1, 29-6234-8

輸送上の注意

取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

キット：コンポーネント 情報修正。

セクション14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	29-6234-8	版	2.01
発行日	2023/09/29	前発行日	2023/09/28

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

リライエックス™ ルーティング プラス ペーストA

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

歯科用製品

使用上の制限

歯科医療者による使用に限定

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	歯科用製品事業部
電話番号	042-770-3725

2. 危険有害性の要約

GHS分類

皮膚感作性： 区分1

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

安全対策

P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
 P280E 保護手袋を着用すること。
 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
 P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
 P362 + P364 汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
 P321 特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。

廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと無機酸化物の反応生成物	2949431-15-4	70 - 80
水	7732-18-5	10 - 20
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	< 10
シラン処理シリカ	68909-20-6	< 2.0
酸化チタン(IV)	13463-67-7	< 0.5
ア릴チオウレア	109-57-9	< 0.5

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素

二酸化炭素

条件

燃焼中

燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。残さを清掃する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

取り扱い時に直接触れない。皮膚に触れた場合には石鹼と水でよく洗う。含有するアクリレートは通常の手袋を透過する。本製品が手袋に触れた場合は手袋を廃棄し、直ちに手を石鹼で洗い、新しい手袋と交換する。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。眼に入れない。

保管

熱から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
結晶質シリカ含有率 3% 未満の鉱物性粉塵	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m ³ ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m ³	
不活性あるいは有害なダスト	13463-67-7	ISHL	TLV(計算値)(ダストとして)(8時間):0.025mg/m ³	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m ³ ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m ³	
結晶質シリカ含有率 3% 未満の鉱物性粉塵	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m ³ ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m ³	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m ³ ;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m ³	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(推奨)(8時間):0.3mg/m ³	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	JSOH OELs	限界値は未設定	皮膚感作性のおそれ。

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m³: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

よく換気されたエリアで使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

皮膚の保護についてはセクション7を参照。

呼吸用保護具

特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态:	ペースト
色	オフホワイト。、黄色
臭い	特異的な臭い
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	引火点なし
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	区分に該当しない。
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1.5 g/cm ³
比重	1.5 [参照基準:水=1]
溶解度	無視できるレベル。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。
モル重量	適用しない

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

本品は特異臭を持つが、健康への影響は予想されない。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

その他健康影響情報

発がん性

以下の健康影響の原因になるような暴露は、通常の用途では予想されない：

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 5,564 mg/kg
シラン処理シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
シラン処理シリカ	皮膚	類似健康有害性	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入-粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
アリルチオウレア	経口摂取	ラット	LD50 200 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	ウサギ	わずかな刺激
シラン処理シリカ	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
アリルチオウレア	専門家による判断	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	ウサギ	中程度の刺激
シラン処理シリカ	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
アリルチオウレア	専門家による判断	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	ヒト及び動物	感作性あり

シラン処理シリカ	モルモット	区分に該当しない。
酸化チタン(IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。
ア릴チオウレア	専門家による判断	感作性あり

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	In vivo	変異原性なし
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
シラン処理シリカ	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vivo	変異原性なし
ア릴チオウレア	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化チタン(IV)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性
ア릴チオウレア	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	49日
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
シラン処理シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1世代
シラン処理シリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1世代

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シラン処理シリカ	吸入した場合	呼吸器系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 0.035 mg/l	13週

シラン処理シリカ	吸入した場合	造血器系 腎臓 および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.035 mg/l	13 週
シラン処理シリカ	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	5 週
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
アрилチオウレア	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 23 mg/kg/day	15 月

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	イシビラメ	類似コンパウンド	96 時間	LC50	833 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	227 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	710 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	380 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	160 mg/l

リレート						
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	24.1 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	該当なし	実験	16 時間	EC0	>3,000 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	該当なし	実験	18 時間	LD50	<98 mg/kg(体重)
シラン処理シリカ	68909-20-6	藻類または他の水生植物	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l
アシルチオウレア	109-57-9	ミジンコ	実験	24 時間	LC50	39 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	84 %BOD/COD	OECD 301D - クローズドボトル法
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	実験 加水分解		加水分解性半減期 塩基性 pH	10.9 日 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
シラン処理シリカ	68909-20-6	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アシルチオウレア	109-57-9	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	35 %BOD/ThOD	OECD 301F
酸化チタン (IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.42	OECD107 log Kow フラスコ振騰法

シラン処理シリカ	68909-20-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アリルチオウレア	109-57-9	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	3.89	
酸化チタン (IV)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

薬機法医薬品、医薬部外品、化粧品は労働安全衛生法の対象外

主な法規制物質

16. その他の情報

改訂情報

- セクション9：揮発分 情報修正.
- セクション9：水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報修正.
- セクション9：追加性状に関する記載 情報修正.
- セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報修正.
- セクション8：作業環境許容値 情報修正.
- セクション8：保護具 - 眼 情報修正.
- セクション8：mg/m³ 記号 情報の追加.
- セクション8：ppm 記号 情報の追加.

セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正。
セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正。
セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正。
セクション4：応急措置(眼に入った場合)の情報 情報修正。
セクション3：成分表 情報修正。
セクション2：健康有害性 情報修正。
セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正。
セクション2：GHS分類 情報修正。
セクション1：担当部門の電話番号 情報修正。
セクション1：製品用途 情報の追加。
セクション15：労働安全衛生法の表 情報の追加。
セクション15：法規名 - 表 情報の削除。
セクション15：適用法規のステートメント 情報修正。
セクション14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正。
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正。
セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正。
セクション12：生態濃縮性情報 情報修正。
セクション11：急性毒性の表 情報修正。
セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正。
セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正。
セクション11：生殖毒性の表 情報修正。
セクション11：生殖胞変異原性の表 情報修正。
セクション11：発がん性の表 情報修正。
セクション11：皮膚感作性の表 情報修正。
セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正。
セクション10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加。
使用上の制限 情報の追加。
項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	29-6280-1	版	2.01
発行日	2023/09/05	前発行日	2023/09/05

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

リライエックス™ ルーティング プラス ペーストB

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

歯科用製品

使用上の制限

歯科医療者による使用に限定

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	歯科用製品事業部
電話番号	042-770-3725

2. 危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分 2 A

呼吸器感作性： 区分 1

皮膚感作性： 区分 1

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H319	強い眼刺激
H334	吸入するとアレルギー，ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

安全対策

P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P284A	換気が不十分な場合呼吸用保護具を着用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい状態を確保すること。
P342 + P311	呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
シラン処理セラミック	444758-98-9	30 - 40
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	868-77-9	10 - 30
アクリル酸イタコン酸共重合体	25948-33-8	10 - 30
水	7732-18-5	5.0 - 15
グリセロール1,3ジメタクリレート	1830-78-0	1.0 - 5.0
リン酸二水素カリウム	7778-77-0	1.0 - 5.0
過硫酸カリウム	7727-21-1	1.9
2,6-ジ-t-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	< 0.5

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性呼吸反応（呼吸困難、喘鳴、咳、胸部圧迫感）。アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素

条件

燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で

漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 密閉容器に収納する。 残さを清掃する。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

取り扱い時に直接触れない。皮膚に触れた場合には石鹼と水でよく洗う。含有するアクリレートは通常の手袋を透過する。本製品が手袋に触れた場合は手袋を廃棄し、直ちに手を石鹼で洗い、新しい手袋と交換する。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。眼に入れない。

保管

熱から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
2,6-ジ- <i>t</i> -ブチル- <i>p</i> -クレゾール	128-37-0	ACGIH	TWA (吸入性分画および蒸気) : 2mg/m ³	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
過硫酸塩	7727-21-1	ACGIH	TWA (過硫酸塩として) : 0.1 mg/m ³	
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	868-77-9	JSOH OELs	限界値は未設定	皮膚感作性のおそれ。

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

よく換気されたエリアで使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

皮膚の保護についてはセクション7を参照。

呼吸用保護具

特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态:	ペースト
色	透明黄色
臭い	特異的な臭い
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	適用しない
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない
引火点	引火点なし
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	区分に該当しない。
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1.5 g/cm ³
比重	1.5 [参照基準:水=1]
溶解度	無視できるレベル。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	適用しない
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。
モル重量	適用しない

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 アレルギー性呼吸器反応：呼吸困難、喘鳴、発咳、胸部圧迫感などの症状。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

眼への激しい刺激：発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するのに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入-粉塵/ミスト(4時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。12.5 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
シラン処理セラミック	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
シラン処理セラミック	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
アクリル酸イタコン酸共重合体	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
アクリル酸イタコン酸共重合体	皮膚	類似健康有害性	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 5,564 mg/kg
グリセロール1,3ジメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
リン酸二水素カリウム	皮膚	ウサギ	LD50 > 4,640 mg/kg
リン酸二水素カリウム	経口摂取	ラット	LD50 > 4,640 mg/kg
過硫酸カリウム	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
過硫酸カリウム	経口摂取	ラット	LD50 1,130 mg/kg
過硫酸カリウム	吸入-粉塵/ミスト(4時間)	類似化合物	LC50 > 5.1 mg/l
2,6-ジ- <i>t</i> -ブチル- <i>p</i> -クレゾール	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
2,6-ジ- <i>t</i> -ブチル- <i>p</i> -クレゾール	経口摂取	ラット	LD50 > 2,930 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
シラン処理セラミック	類似化合物	刺激性なし
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	ウサギ	わずかな刺激
グリセロール1,3ジメタクリレート	ウサギ	刺激性なし
過硫酸カリウム	ウサギ	刺激性なし
2,6-ジ- <i>t</i> -ブチル- <i>p</i> -クレゾール	ヒト及び動物	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
シラン処理セラミック	類似化合物	軽度の刺激
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	ウサギ	中程度の刺激
グリセロール1,3ジメタクリレート	In vitro data	激しい刺激
過硫酸カリウム	ウサギ	刺激性なし

2,6-ジ- <i>t</i> -ブチル- <i>p</i> -クレゾール	ウサギ	軽度の刺激
---------------------------------------	-----	-------

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
シラン処理セラミック	類似化合物	区分に該当しない。
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	ヒト及び動物	感作性あり
グリセロール1,3ジメタクリレート	マウス	区分に該当しない。
過硫酸カリウム	マウス	感作性あり
2,6-ジ- <i>t</i> -ブチル- <i>p</i> -クレゾール	ヒト	区分に該当しない。

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
過硫酸カリウム	ヒト	感作性あり

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	In vivo	変異原性なし
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
過硫酸カリウム	In vitro	変異原性なし
2,6-ジ- <i>t</i> -ブチル- <i>p</i> -クレゾール	In vitro	変異原性なし
2,6-ジ- <i>t</i> -ブチル- <i>p</i> -クレゾール	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
シラン処理セラミック	吸入した場合	類似化合物	陽性データはあるが、分類には不十分。
2,6-ジ- <i>t</i> -ブチル- <i>p</i> -クレゾール	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	49日
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
2,6-ジ- <i>t</i> -ブチル- <i>p</i> -クレゾール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	2世代
2,6-ジ- <i>t</i> -ブチル- <i>p</i> -クレゾール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	2世代
2,6-ジ- <i>t</i> -ブチル- <i>p</i> -クレゾール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	2世代

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アクリル酸イタコン酸共重合体	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5,000 mg/kg	
過硫酸カリウム	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シラン処理セラミック	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	類似化合物	NOAEL 非該当	
アクリル酸イタコン酸共重合体	経口摂取	内分泌系 造血器系 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/day	28 日
アクリル酸イタコン酸共重合体	経口摂取	心臓 骨、歯、爪及び/又は毛髪 免疫システム 筋肉 神経系 眼 腎臓および膀胱 呼吸器系 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/day	28 日
2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 250 mg/kg/day	28 日
2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	2 世代
2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	血液	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 420 mg/kg/day	40 日
2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 25 mg/kg/day	2 世代
2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 3,480 mg/kg/day	10 週

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
シラン処理セラミック	444758-98-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	868-77-9	イシビラメ	類似コンパウンド	96 時間	LC50	833 mg/l
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	868-77-9	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	227 mg/l
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	710 mg/l
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	868-77-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	380 mg/l
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	160 mg/l
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	868-77-9	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	24.1 mg/l
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	868-77-9	該当なし	実験	16 時間	EC0	>3,000 mg/l
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	868-77-9	該当なし	実験	18 時間	LD50	<98 mg/kg(体重)
アクリル酸イタコン酸共重合体	25948-33-8	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
グリセロール 1,3ジメタクリレート	1830-78-0	グッピー	実験	96 時間	LC50	43.2 mg/l
リン酸二水素カリウム	7778-77-0	液状化	推定値	3 時間	NOEC	1,000 mg/l
リン酸二水素カリウム	7778-77-0	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l
リン酸二水素カリウム	7778-77-0	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l
リン酸二水素	7778-77-0	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l

カリウム						
リン酸二水素 カリウム	7778-77-0	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	100 mg/l
2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	液状化	実験	3 時間	EC50	>10,000 mg/l
2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>0.4 mg/l
2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.48 mg/l
2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	緑藻類	実験	72 時間	EC10	0.4 mg/l
2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	メダカ	実験	42 日	NOEC	0.053 mg/l
2,6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.023 mg/l
過硫酸カリウム	7727-21-1	藻類または他の水生植物	推定値	72 時間	EC50	320 mg/l
過硫酸カリウム	7727-21-1	カイアシ類	推定値	48 時間	LC50	21.22 mg/l
過硫酸カリウム	7727-21-1	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	76.3 mg/l
過硫酸カリウム	7727-21-1	藻類または他の水生植物	推定値	72 時間	NOEC	32 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
シラン処理セラミック	444758-98-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	868-77-9	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	84 %BOD/COD	OECD 301D - クローズドボトル法
2-ヒドロキシメチルメタクリレート	868-77-9	実験 加水分解		加水分解性半減期 塩基性 pH	10.9 日 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
アクリル酸イタコン酸共重合体	25948-33-8	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

グリセロール 1,3ジメタク リレート	1830-78-0	実験 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	84 %BOD/ThOD	OECD 301F
リン酸二水素 カリウム	7778-77-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2,6-ジ-tert-ブ チル-p-クレ ゾール	128-37-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
過硫酸カリウ ム	7727-21-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
シラン処理セ ラミック	444758-98-9	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2-ヒドロキシ メチルメタク リレート	868-77-9	実験 生態濃 縮		オクタノール /水 分配係 数	0.42	OECD107 log Kow フ ラスコ振騰法
アクリル酸イ タコン酸共重 合体	25948-33-8	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
グリセロール 1,3ジメタク リレート	1830-78-0	推定値 生態 濃縮		オクタノール /水 分配係 数	2.05	
リン酸二水素 カリウム	7778-77-0	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2,6-ジ-tert-ブ チル-p-クレ ゾール	128-37-0	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	1277	OECD305-生体濃縮度 試験
過硫酸カリウ ム	7727-21-1	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

化管法：第1種指定化学物質
薬機法医薬品、医薬部外品、化粧品は労働安全衛生法の対象外

主な法規制物質

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
過硫酸カリウム	過硫酸水溶性塩	395	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

- セクション9：揮発分 情報修正.
- セクション9：揮発性有機化合物 情報修正.
- セクション9：水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報修正.
- セクション9：沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正.
- セクション9：追加性状に関する記載 情報修正.
- セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報修正.
- セクション9：融点/凝固点 情報修正.
- セクション8：作業環境許容値 情報修正.
- セクション8：保護具 - 眼 情報修正.
- セクション8：mg/m3 記号 情報の追加.
- セクション8：ppm 記号 情報の追加.
- セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
- セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
- セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正.
- セクション3：成分表 情報修正.
- セクション2：健康有害性 情報修正.

セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正。
セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正。
セクション2：GHS分類 情報修正。
セクション1：担当部門の電話番号 情報修正。
セクション1：製品用途 情報の追加。
セクション15：労働安全衛生法の表 情報の追加。
セクション15：化管法の表 情報の追加。
セクション15：法規名 - 表 情報の削除。
セクション15：適用法規のステートメント 情報修正。
セクション14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正。
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正。
セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正。
セクション12：生態濃縮性情報 情報修正。
セクション11：健康影響情報（吸入した場合） 情報修正。
セクション11：呼吸器感作性の表 情報の追加。
セクション11：呼吸感作性 情報の削除。
セクション11：急性毒性の表 情報修正。
セクション11：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正。
セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正。
セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正。
セクション11：生殖毒性の表 情報修正。
セクション11：生殖胞変異原性の表 情報修正。
セクション11：皮膚感作性の表 情報修正。
セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正。
セクション10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加。
使用上の制限 情報の追加。
項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。